

## 第2回 緊急シンポジウム 中間貯蔵施設の問題点と課題を考える 住民・地権者の権利保護と将来の地域再生を見据えて

中間貯蔵施設の着工、搬入が急速に進んでいます。しかし、立地予定2町の住民や地権者など、関係者への説明は十分になされているわけではありません。さらに重大なことは、ほとんどの地権者から同意を得ることなく、進められていることです。中間貯蔵施設の建設・搬入が、なしくずし的に進められる前にまず何をはっきりさせておかななくてはいけないかを考えるため、専門家の協力を得て、第2回緊急シンポジウムを開催することにいたしました。今年2月のいわき市開催に続き、他地域の方々からのご要望を受けての開催となります。

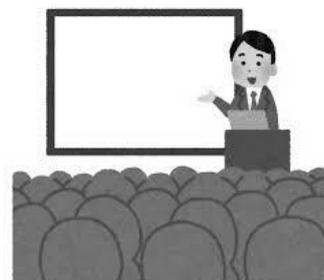
中間貯蔵施設は、立地予定2町だけでなく、福島復興にとっても、大きな影響があります。除染土などを運ぶルート周辺の住民をはじめ、多くの県民のみなさんに、この問題に関心をもっていただきたいと思います。

日時 2015年5月17日(日) 13:30~16:30

会場 会津大学短期大学部 北棟3階 310教室

(大熊中学校近く；会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1；下図参照)

入場無料 受付開始13:00

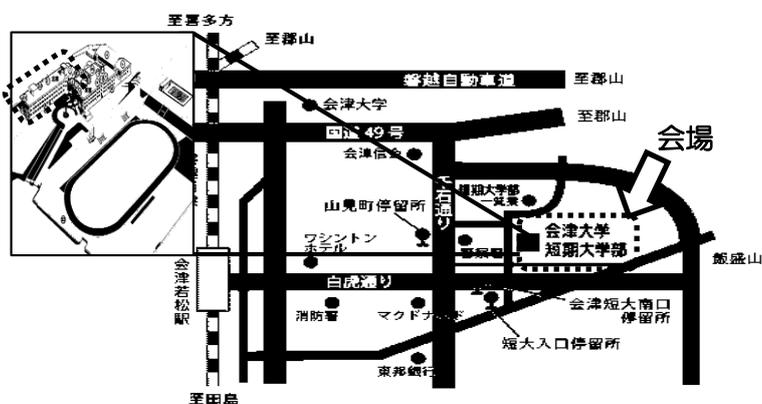


司会： 久保美由紀（会津大学短期大学部 准教授）

第1部 講演とシンポジウム（13:40~16:00）

- ①「中間貯蔵施設の経緯と論点」除本理史（大阪市立大学 教授）
- ②「施設の安全性と周辺住民の生活権の確保」磯野弥生（東京経済大学 教授）
- ③「設置手続と用地補償の問題点」田代 圭（弁護士、会津鶴城法律事務所）

第2部 「30年中間貯蔵施設地権者会」の活動報告（16:00~16:30）



=== 講演者の紹介 ===  
 除本理史(よけもとまさふみ) 環境政策論、環境経済学。日本環境会議 事務局次長。著書に『原発賠償を問う』など。  
 磯野弥生(いそのやよい) 行政法、環境法。日本環境会議 代表理事などを務める。著書に『最新行政法入門』など。  
 田代 圭(たしろけい) 福島県弁護士会 原子力発電所事故対策プロジェクトチームなどで活動。

主催： 30年中間貯蔵施設地権者会(連絡先 mommayoshiharu@ezweb.ne.jp)

協力： 会津大学短期大学部 久保美由紀 研究室

日本環境会議 ふくしま地域・生活再建研究会

(<http://www.einap.org/jec/committee/fukushimachiiki/>)